

医療クラーク紹介

大きな責任とやりがいで医療を支える縁の下の力持ち

医療クラークチーム 医療事務補佐員 宮崎政代

医療事務補佐員 近藤公子

医療クラークは、看護師など他部門の医療従事者との連携を図りながら医師の事務作業をサポートします。医師が診察した結果や指示、処置をデータ入力し、書類作成などを行います。また診断時に必要な検査の手配、次回の予約管理と連絡、入院時に必要な書類作成など幅広い業務を担っています。当院では診療科毎に複数の医療クラークが所属し、数人の小さなグループに分かれて業務にあたっています。患者さんの個人情報扱い、検査や処置のオーダーなど常に正確性とスピードを要求され責任と緊張が伴う仕事ですが、その分やりがいに繋がっています。関連する部署のクラーク同士は仲が良く、「お互いさま」の気持ちで互いにフォローしあっています。患者さんとは「どうぞお大事に」「次回も気をつけて来てください」など不安を取り除けるような声がけを心掛けています。産婦人科の杉山隆教授からは「医療クラークさんは、医師、看護職との連携がとても重要で、時には患者さんの情報に関し幅広くフレキシブルに対応いただき、感謝しています。我々のチームにとって必要不可欠な存在です。」といつも気にかけてもらっています。



PROFILE

写真右 / みやざきまさよ ©2011年10月から勤務。趣味は映画鑑賞、子どもと遊ぶこと。

写真左 / こんどうきみこ ©2010年10月から勤務。趣味はサイクリングとガーデニング。